

平成30年度事業報告

自 平成30年4月1日
至 平成31年3月31日



社会福祉
法人

瀬戸内市社会福祉協議会

○ 福祉総務（邑久本所・牛窓支所・長船支所）

1. 地域福祉活動推進事業

（1）地域福祉活動等支援事業

① 福祉委員（制度）

小地域の福祉力の維持・向上を図ることを目的に、ふれあいサロンなど地域福祉活動への参加及び運営協力、社協広報誌の配布等を通じた見守り活動、社協会費・共同募金運動の協力など、市社協・地区社協と連携・協働を呼びかけた。

■福祉委員数

	牛窓町	邑久町	長船町	合計
平成30年	70名	208名	140名	418名
平成29年	71名	212名	141名	424名

■福祉委員だよりの発行

2ヶ月に1回（せとうち社協通信と同時）発行し、福祉委員活動を行う上での役立つ情報を提供した。

② ふれあいサロン事業

身近な小地域の中で、住民同士が交流し、健康づくり・仲間づくり等を支援した。

地区名		実施サロン数 平成30年	延べ参加者数 平成30年度	実施サロン数 平成29年	延べ参加者数 平成29年度
牛窓町	牛窓地区	5	767	5	911
	鹿忍地区	8	1,057	9	1,241
	長浜地区	5	1,406	5	1,586
邑久町	邑久地区	7	1,054	8	1,018
	福田地区	5	741	5	792
	今城地区	2	315	4	504
	豊原地区	6	577	6	558
	本庄地区	0	0	0	0
	笠加地区	1	334	1	325
	玉津地区	0	0	0	0
	裳掛地区	1	146	4	302
長船町	美和地区	6	908	6	928
	国府地区	9(1)	1,666	7(1)	1,281
	行幸地区	11	3,965	12	4,578
瀬戸内市全体		1	215	1	346
合計		67(1)	13,151	68(1)	14,370

※()は内新規設置サロン数 瀬戸内市全体 1

※子育てサロン：3カ所（福田地区：1カ所、行幸地区：1カ所、瀬戸内市全体：1カ所）

月 日	主 な 内 容
平成30年 6月1日(金)	第1回：レクリエーション講座・情報交換会
11月8日(木)	第2回：講演会（ふれあいサロンの運営について）
平成31年 2月14日(木)	第3回：補助金について説明等 開催場所：ゆめトピア長船

③ 地区社協及び小地域福祉活動推進支援事業

地域の様々な福祉的課題を共有及び解決するために、市社協が地区社協等で行われる地域課題に対応した柔軟な福祉活動を支援し、誰もが住みよい地域づくりの推進に寄与した。

- (1) 当該地区の会費実績40%及び共同募金実績の10%を地区社協運営費として助成
- (2) 地区社協ごとに担当職員を置き、小地域ケア会議の開催支援等
牛窓地区、鹿忍地区 長浜地区（浜区限定）
邑久地区、福田地区 今城地区、豊原地区、本庄地区、笠加地区、玉津地区、
裳掛地区 美和地区

(12地区/14地区中)

④ ボランティア団体・個人の支援事業

市内ボランティアの活性化を目的に、瀬戸内市ボランティア連絡協議会の定期開催等、ボランティア同士の交流や情報交換の場づくりを中心に事業推進を行った。

瀬戸内市ボランティア連絡協議会定例会等実施状況

月 日	主 な 内 容
平成30年 4月19日(木)	第1回定例会：規約・事業計画・予算等について
6月21日(木)	第2回定例会：「肺がんには負けない自分」馬場章さんの講演
8月16日(木)	第3回定例会：避難所運営ゲーム『HUG』をしよう！
10月18日(木)	第4回定例会：「何ができるか？ボランティアの被災地支援を考える」 NPO法人ぼうぼうネット事務局長 山崎隆弘氏 講演
11月24日(土)	瀬戸内市総合防災訓練(邑久中学校) (瀬戸内市ボラ連から6名参加)
12月20日(木)	第5回定例会：瀬戸内市総合防災訓練の振り返り 災害ボランティアセンター運営支援のご報告
平成31年 2月21日(木)	第6回定例会：振り返りと今後の活動について
2月24日(日)	平成30年度研修：瀬戸内市ボランティア・市民活動センター主催 「災害ボランティア講座」に参加

※瀬戸内市ボランティア連絡協議会定例会…偶数月第3木曜日、13：30～15：00

⑤ 夏のボランティア体験事業

市内の中高校生等を対象とした夏休み期間を利用したボランティア体験事業を行った。福祉関係の団体・施設を中心に様々なボランティア体験を通じて福祉の心を育む機会を提供した。

平成30年度参加中学校・高等学校・大学 ()内は平成29年度実績

学校名			
牛窓中学校	14名 (29名)	西大寺高等学校	4名 (3名)
邑久中学校	129名 (172名)	瀬戸高等学校	3名 (0名)
長船中学校	75名 (53名)	就実高等学校	2名 (1名)
邑久高等学校	8名 (19名)	中国短期大学	1名 (4名)
備前緑陽高等学校	5名 (2名)		
合計:	9校 参加人数: 241名	(合計: 14校 (参加人数: 286名))	

平成30年度夏ボラ受入団体・施設 ()内は平成29年度実績

種別	名称	
高齢者 障害者施設	デイサービスうらら 長船荘デイサービスセンター 特別養護老人ホームせとうち グループホーム邑久幸ホーム グループホーム星の家	地域生活支援センタースマイル にじいろスクエアせとうち
幼稚園 児童施設	牛窓ルンビニ保育園 あいあい保育園 ゆめクラブ 邑久保育園 福田保育園 今城保育園	長船東保育園 長船西保育園 長船ちとせ保育園 国府ひまわりクラブ 学童保育今城っ子クラブ 裳掛児童館
その他	瀬戸内市中央公民館 瀬戸内市民病院 瀬戸内市民図書館 瀬戸内市邑久スポーツ公園	ちまち・どんどん 長船町公民館 長船夏祭り実行委員会
合計: 26ヶ所		(合計: 29ヶ所)

⑥ 各種福祉団体及び当事者団体等支援

当事者団体の自立した運営体制の確立ができるよう側面から支援を行った。

福祉課題への積極的な取り組み	市老連活動として、介護予防等諸課題へ積極的に本会（地域包括等）と連携・協働し取り組みを推進していく。
----------------	--

⑦ 福祉協力校との連携及び協働

市内の各園・学校において、園児・生徒が様々な体験を通して福祉の心を育むことができるよう支援した。

助成金額（保育園・児童館・幼稚園：各2万円、小・中・高等学校：各3万円）

牛窓町	・保育園：ルンビニ・あいあい ・幼稚園：牛窓東 ・小学校：牛窓東・牛窓西・牛窓北 ・中学校：牛窓中	(2ヶ所) (1ヶ所) (3ヶ所) (1ヶ所)
邑久町	・児童館：裳掛 ・保育園：邑久・福田・今城 ・幼稚園：邑久・今城 ・小学校：邑久・今城・裳掛 ・中学校：邑久中 ・高等学校：邑久高校	(1ヶ所) (3ヶ所) (2ヶ所) (3ヶ所) (1ヶ所) (1ヶ所)
長船町	・保育園：長船東・長船西・長船ちとせ ・幼稚園：美和・国府・行幸 ・小学校：美和・国府・行幸 ・中学校：長船中	(3ヶ所) (3ヶ所) (3ヶ所) (1ヶ所)

⑧ 日常生活用具貸出事業

車イス貸出し台数（出前講座含む）： 44台（平成29年度は36台）

⑨ 平成30年度西日本豪雨における職員派遣及び支援物資の集配

7月6日から8日にかけての豪雨において岡山県内が被災したため「岡山県内社会福祉協議会における災害時の相互支援に関する協定書」に基づき、被災地社協へ職員を派遣した。また本会独自に災害支援物資の収集と配送を実施した。

	倉敷市	総社市	高梁市	合計
職員派遣人数	12	7	2	21
派遣日数	61	28	6	95

※平成30年11月末日まで実施。

支援物資について

募集方法：本会ホームページに掲載

募集期間：平成30年7月9日～23日

受付方法：郵送、持参

受付場所：本所、各支所

受付個数：約27,000点

主な受付物資

軍手、ゴミ袋、タオル、生理用品、ティッシュ、トイレトペーパー、飲食料、マスク、衣服、下着、ランドセル他

受け付けた支援物資は、岡山市、倉敷市、総社市、高梁市へ必要に応じて配達を実施。

(2) 地域生活支援事業 (*受託事業: ①~②)

① 日常生活自立支援事業 (岡山県社協からの受託事業)

認知症高齢者・知的障がい者・精神障がい者等のうち判断能力が不十分な方に対し、生活支援員の協力を得て、福祉サービスの利用や日常生活に必要な金銭の管理を行った。

現在の利用状況 (単位: 人)

	牛窓	邑久	長船	合計
利用者	1	3	2	6
支援員	1	1	2	4

② 生活福祉資金貸付事業 (岡山県社協からの受託事業)

低所得世帯・障がい者世帯等に対する資金貸付事業の相談窓口業務、申込書の受付、償還指導等を行った。「瀬戸内市生活相談支援センター」と積極的に連携し、相談業務を行った。

		牛窓	邑久	長船	合計
新規借入者	生活	0	0	0	0
	離職	0	0	0	
償還期間中	生活	6	2	8	19
	離職	1	0	2	
合計		7	2	10	19

平成30年度相談件数 10件 (→貸付決定世帯は0件)

③ 法人後見事業

市民後見人と共に成年後見人等に就任し、認知症高齢者や知的・精神障害者等の財産管理・身上監護業務を行った。

■受任状況 (単位: 人)

	牛窓	邑久	長船	その他	合計
受任件数	1(4)	0(2)	0(1)	0(1)	1(8)

() 内の数字は前年度までの受任件数と合せた合計件数

2. 総務企画・広報等事業

(1) 総務

① 法人運営

② 社協バス運行管理

社協バスを有効に活用することにより、各種団体活動の活性化及び円滑な団体運営を図り、市内外福祉施設への視察で運行した。

	サロン	団体	地区社協	社協事業	市行政	合計
平成30年度	41	18	13	1	1	74
平成29年度	45	17	13	1	2	78

③ 社協会員会費

社協らしい活動がさらに求められており、会員会費の募集を通じて市民・法人に理解を求めた。

平成30年度実績 (普通) 9,003,000円 (特別) 1,335,000円 合計 10,338,000円
 平成29年度実績 (普通) 9,204,000円 (特別) 1,300,000円 合計 10,504,000円

2) 福祉講座・イベント運営事業

① 地域福祉出張支援講座

月 日	学校名	内 容	
10月 5日 (金)	美和小学校	車椅子体験	職員による出前講座
10月15日 (月)	邑久小学校	車椅子体験	職員による出前講座
10月17日 (水)	美和小学校	高齢者疑似体験	職員による出前講座
11月15日 (木)	牛窓西小学校	車椅子体験・高齢者疑似体験	職員による出前講座
12月 5日 (水)	行幸小学校	総合学習	職員による出前講座

(3) 広報活動事業

① 広報誌発行事業

市民の方々に、本会が取り組む様々な地域福祉活動についてより一層理解を深めてもらうため年6回偶数月に発行した。

(4) 共同募金事業

① 瀬戸内市共同募金委員会運営支援事業

今年度も10月1日より赤い羽根共同募金事業を行う。共同募金運営委員を中心に各イベントや街頭での募金活動を実施し、市内に広く周知する活動支援を行う。また、募金協力員(福祉委員・行政委員等)に協力を頂き、戸別募金の呼びかけ及び集金を実施した。

平成30年度目標額：6,400,000円

	牛窓町		邑久町		長船町		合計	
	金額 (円)	件数	金額 (円)	件数	金額 (円)	件数	金額 (円)	件数
戸別募金	863,995	1,747	2,294,800	4,590	1,506,291	3,031	4,665,086	9,368
街頭募金			26,592	4			26,592	4
法人募金	308,000	62	505,000	90	295,000	83	1,108,000	235
学校募金			63,275	13			63,275	13
職域募金			433,000	810			433,000	810
イベント募金			14,653	3			14,653	3
その他募金			38,839	27		1	38,839	27
合計	1,171,995	1,745	3,376,159	5,537	1,801,291	3,114	6,349,445	10,460

② 災害義援金の募集

- ・大阪北部地震義援金 : 4,639円
- ・米原市竜巻災害義援金 : 1,200円
- ・西日本豪雨災害義援金 : 174,021円 (岐阜県、京都府、兵庫県、岡山県、広島県、島根県、山口県、愛媛県、高知県、福岡県)

(1) 総合相談・支援事業

目 的：高齢者及び家族が、住み慣れた地域で安心してその人らしい生活をできるだけ継続していくことができるようにするため、どのような支援が必要かを把握し、地域における各種社会資源へのつながりや適切なサービス・制度の利用支援、関係機関との連絡調整等を行うことを目的とします。

実施項目

- ◇高齢者総合相談窓口／実態把握訪問等
- ◇地域包括支援ネットワーク構築

事業実績等

《総合相談対応件数 ※延件数》 ※ブランチ事業所の活動実績を含む

月	合計件数	内 訳			
		来所	電話	訪問	その他
4月	419	41	197	150	31
5月	450	40	214	156	40
6月	299	33	141	99	26
7月	398	43	234	94	27
8月	386	38	208	118	22
9月	329	20	161	118	30
10月	481	40	267	134	40
11月	467	39	275	122	31
12月	391	39	186	132	34
1月	369	35	191	98	45
2月	385	29	224	110	22
3月	398	37	211	114	36
合計	4,772	434	2,509	1,445	384

《相談内容別対応件数 ※延件数》

※内容重複有

介護相談	福祉相談	介護予防	認知症	健康相談	虐待・権利擁護	その他
2,057	351	636	886	703	389	574

(2) 権利擁護事業

目 的：さまざまな場面において、権利侵害を受けている、又は受ける可能性が高いと考えられる高齢者が、地域で安心して尊厳ある生活を行うことができるよう、予防や対応を専門的に行うことを目的とします。

実施項目

- ◇高齢者虐待の防止及び対応
- ◇消費被害の防止及び対応
- ◇判断力に不安のある方や権利擁護を必要とする方への支援

事業実績等

《内容別対応件数 ※延件数》

成年後見 制度活用 の促進	日常生活 自立支援 事業の 利用支援	老人福祉 施設等 措置支援	高齢者虐待 への対応	介護保険 による 契約入所 等の支援	消費者 被害防止	その他 の支援
44	0	19	131	0	7	17

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

目的：地域の高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、個々の高齢者の状況や変化に応じた包括的・継続的なケアマネジメントが提供できるよう、地域の基盤を整えるとともに、個々の介護支援専門員等へのサポートを行うことを目的とします。

実施項目

- ◇包括的・継続的ケアマネジメントの環境整備
- ◇個々の介護支援専門員等へのサポート体制整備

事業実績等

《介護支援専門員等に対する個別相談支援件数 ※延件数》 916件

(4) 介護予防ケアマネジメント事業

目的：介護予防・日常生活支援総合事業の開始に伴い、従来の要支援認定の枠にとらわれず、日常生活に支援の必要な高齢者の心身の状況や環境等に応じて、自立した生活を送ることができるよう総合的に支援を行うことを目的とします。

実施項目

- ◇地域ケア個別会議の実施
- ◇指定介護予防支援
- ◇介護予防ケアマネジメント（第1号介護予防支援）
- ◇一般高齢者の介護予防活動への参加促進等

事業実績等

《地域ケア個別会議実施状況》

月日	件数	内容等
4月12日	4件	【検討ケース】利用者が住み慣れた地域で自立した日常生活を送るために、必要な介護保険サービスやボランティア等の社会資源の導入の妥当性について、ケアプラン原案を基に検討しました。
4月19日	6件	
5月17日	3件	
5月24日	1件	
6月21日	3件	
6月28日	1件	◇主に以下のケースについて検討 ①従前の予防給付相当のデイサービス（介護予防デイサービス）の新規利用の必要性等検討 ②運動プログラム中心に6ヶ月を目安に通う元気アップデイの修了判定
7月12日	1件	
7月19日	3件	
8月16日	2件	
8月23日	2件	【会議構成員】いきいき長寿課・健康づくり推進課管理栄養士・市民病院理学療法士・包括・生活支援コーディネーター
9月13日	4件	
9月20日	2件	

10月11日	3件
10月18日	3件
11月15日	3件
11月22日	2件
12月13日	1件
12月20日	2件
1月17日	1件
1月24日	1件
2月14日	1件
2月21日	1件
3月14日	4件
3月20日	1件

《指定介護予防支援・介護予防ケアマネジメントの実施状況》 ※（ ）内委託分

月	プラン作成 合計件数	予防給付を含む 利用の件数	※総合事業のみ 利用の件数
4月	333 (82)	268 (67)	65 (15)
5月	335 (86)	272 (71)	63 (15)
6月	334 (87)	269 (71)	65 (16)
7月	337 (90)	273 (74)	64 (16)
8月	343 (91)	278 (74)	65 (17)
9月	344 (92)	279 (76)	65 (16)
10月	339 (88)	276 (73)	63 (15)
11月	342 (88)	282 (75)	60 (13)
12月	345 (84)	291 (73)	54 (11)
1月	345 (84)	291 (73)	54 (11)
2月	337 (78)	285 (68)	52 (10)
3月	341 (68)	286 (59)	55 (9)
合計	4,075 (1,018)	3,350 (854)	725 (164)

※当該月のサービス利用が総合事業（デイ・ヘルパー）のみであった場合の件数

例）デイと福祉用具レンタルの場合は従来どおり予防給付での介護予防支援になる

（５）認知症施策の推進

目的：今後さらに認知症高齢者の増加が見込まれる現状に対し、各種事業を実施し適切な対応が図れるよう体制整備を行うとともに、地域で支え合うネットワークづくりを目指します。なお、事業実施にあたっては認知症地域支援推進員研修受講職員を中心に、市担当課との協働により推進します。

実施項目

- ◇啓発活動及び理解促進
- ◇当事者支援活動
- ◇ネットワークづくり他

事業実績等

《啓発・理解促進の実施状況》

・認知症サポーター養成講座

月 日	団体名等	人 数
7月11日	百田福寿会	21名
8月21日	瀬戸内市老人クラブ連合会	70名
9月13日	丸山地域ふれあいサロン	13名
9月20日	瀬戸内市役所職員	26名
10月18日	小向ふれあいサロン	23名
10月19日	笠加地区小地域ケア会議	25名
11月1・2日	長船中学校	120名
11月13日	一般市民向け	6名
11月29日	北池はつらつ教室OB会	14名
12月6日	こやま薬局	8名
12月11日	おかやまコープ会員	28名
1月9日	邑久高校	6名
2月23日	福田地区社協	23名

・認知症サポーター フォローアップ研修

月 日	内 容	人 数
2月13日	『認知症当事者や家族の立場からの話』 講師：認知症の人と家族の会岡山県支部 副代表 景山 富久子 氏	70名

・認知症高齢者徘徊模擬訓練

月 日	内 容	人 数
10月13日	裳掛コミュニティを会場に、声掛け練習と併せて徘徊対策促進事業（見守りシール）の体験を実施	29名

《当事者支援活動の実施状況》

・認知症介護家族の交流会

月 日	内 容	人 数
5月8日	座談会	12名
7月3日	座談会	10名
9月4日	台風により延期	—
11月6日	オシメ勉強会	11名
1月15日	座談会・徘徊対策事業紹介	7名
3月5日	座談会	10名

・認知症カフェ『つくしカフェ』

総合福祉センター西部屋にてボランティアの協力により開催

月 日	内 容	人 数
4月3日	茶話会	13名
6月5日	茶話会・ワークショップ	29名
8月7日	茶話会・ルービックペーパー作り	17名
10月2日	茶話会・ハーモニカ演奏	22名
12月4日	茶話会・内服に関するミニ講話	24名
2月5日	茶話会・クイズ・体操他	27名

上記の他、特養せとうちで行われる『喫茶せとうち』へ協力

(6) 生活支援体制整備事業

目的：介護予防・日常生活支援総合事業の開始に伴い、高齢者の日常生活上の支援体制の充実・強化及び社会参加の促進を一体的に図るために、生活支援コーディネーターを配置し、以下の業務を行います。

実施項目

◇高齢者の生活支援・介護予防サービスの体制整備推進 ◇協議体との連携

事業実績等

《生活支援・介護予防サービスの体制整備状況》

- ・体操を中心とした通いの場づくり（はつらつ教室の立ち上げ・OB会支援）

30年度末のOB会会場数：80ヶ所

【30年度中に開始した教室】

地区	期間	地区	期間
岡南団地	4/10～6/26	大塚	5/10～7/26
山手	5/28～8/27	新町	6/5～8/28
福中下	6/8～8/24	浜区	8/3～11/2
鹿忍大向	8/20～11/12	天王	9/3～12/10
敷井	9/11～11/27	下寺	9/21～12/21
潤徳	10/4～12/20	西谷	11/6～1/29
東町	11/19～3/4	瀬戸内	11/28～2/27
柏山	11/30～3/1	福元	12/4～2/26
下笠加	1/9～3/27	宮ノ本	1/10～4/4
畑	1/11～3/29	北島東谷	1/21～4/15
宮下	2/5～4/12	車	3/5～5/28
豆田南	3/11～6/12	大橋	3/28～6/27

上記の他、地域からの依頼や地域への働きかけにより、9ヶ所で『はつらつ教室体験会』3ヶ所ではつらつ教室・体操の紹介を行い、教室実施につなげる取り組みを実施した。

- ・介護予防リーダー養成研修（市いきいき長寿課主催事業への協力）

年11回開催（リーダーアフター教室含む）

- ・介護予防リーダーレベルアップ研修（市いきいき長寿課主催事業への協力）

年8回開催

- ・出前講座・啓発活動 ※内容によりコーディネーターと包括で職員調整

4月14日	丸山みのり会総会	4月17日	カフェ憩
4月25日	公明党瀬戸内市支部	6月14日	丸山地域ふれあいサロン
7月6日	西町ほがらかサロン	7月8日	福元ニコニコ会
8月20日	本村ふれあい会	8月21日	瀬戸内市老連
9月10日	西町ほがらかサロン	9月26日	畑ふれあいサロン
9月28日	牛文ふれあいサロン	11月6日	車地区ふれあいサロン
11月14日	ふれあいサロン宮ノ本会	11月21日	東町ふれあいサロン
11月25日	磯上ふれあい福祉会	2月15日	山手つばき会
3月6日	ふれあい錦会	3月14日	本庄はつらつ教室OB会
3月23日	幡老人クラブ		

- ・その他地域に出向いての体操指導を実施

○ 権利擁護 (瀬戸内市権利擁護センター) ※受託事業

1. 権利擁護センター運営に関する事業

(1) 権利擁護センター運營業務

重要事項の審議や権利擁護に関する困難事案の支援方針決定、虐待防止と支援ネットワーク構築を目的に各種委員会・研修会を開催しました。また、市内の専門職とのネットワークを強化し、相互協力や適切な役割分担の下、成年後見・権利擁護の普及・支援体制の構築を図りました。

○運営委員会の開催

	日 時	内 容
第1回	5月23日(水)	副委員長の選任／平成29年度事業報告並びに決算報告
第2回	3月27日(水)	平成30年度市民後見人バンク登録者の推薦／平成31年度市民後見人養成の必要性の有無と必要人数／平成31年度事業計画(案)並びに収支予算(案)

○支援検討委員会の開催

	日 時	内 容
第1回	4月25日(水)	委員長の選任 継続2件 ・ 障害者虐待の疑い(経済的・心理的)／市長申立 ・ 市民後見人受任調整
臨時	5月23日(水)	新規1件 ・ 多問題を抱える養護老人ホーム入所高齢者
第2回	6月27日(水)	新規1件 ・ 市民後見人受任調整／社協法人後見運営委員会 継続1件 ・ 市外に住民票が移る知的障害者の支援
第3回	7月25日(水)	継続1件 ・ 障害者虐待の疑い(経済的・心理的)
第4回	8月22日(水)	新規2件 ・ 高齢者虐待の疑い(身体的・心理的) ・ 高齢者虐待(経済的・ネグレクト)
第5回	9月26日(水)	新規1件 ・ 金銭問題を抱える高齢・障害者世帯
第6回	10月24日(水)	経過報告 (法人後見運営委員会) ・ 受任ケース8件についての対応状況
第7回	11月28日(水)	新規1件 ・ 支援拒否の生活困窮者 継続1件 ・ 高齢者虐待の疑い(身体・心理)
第8回	12月26日(水)	継続2件 ・ 多問題を抱える養護老人ホーム入所高齢者 ・ 高齢者虐待(身体・心理)
第9回	1月23日(水)	継続2件 ・ 多問題を抱える高齢・障害者世帯 ・ 高齢者虐待(ネグレクト)
第10回	2月27日(水)	経過報告 ・ 平成30年度支援検討委員会取扱い事案

○権利擁護事例研究会の開催

	日 時	内 容
第1回	4月4日(水)	関係者打ち合わせ
第2回	5月2日(水)	テーマの話：成年後見制度における意思決定支援のタイミング ・ 生活環境が厳しい中、在宅を希望する末期癌患者のターミナルケア

第3回	6月6日(水)	・家族・地域と協力して支援を模索中の認知症高齢者
第4回	7月4日(水)	テーマの話：貧困と社会的孤立 ・8050の引きこもり世帯の支援
第5回	8月1日(水)	テーマの話：任意後見について ・複合的問題を抱える認知症高齢者の母親と知的障害者の娘世帯の支援
第6回	9月5日(水)	・体幹に機能障害のある独居高齢者の生活支援
第7回	10月3日(水)	・支援者の受入れは良いが、本人の困りごとの解消に至らないケース
第8回	11月7日(水)	・被後見人(知的障害者)の医療同意にかかる意思決定支援
第9回	12月5日(水)	・嫉妬妄想でご近所トラブルになってしまう高齢者の支援
第10回	1月9日(水)	・金銭トラブルに巻き込まれた多問題重複世帯(祖父母と同居の障害者)の支援
第11回	2月6日(水)	・娘と共依存関係にある精神障害者(高齢者)の支援
第12回	3月6日(水)	テーマの話：障害者差別解消法について ・生活困窮状態の独居高齢者の支援

○高齢者権利擁護研修会〔介護サービス事業所(施設・居住系)〕

日 時 11月30日(金)
場 所 瀬戸内市総合福祉センター
内 容 講義「利用者の意思決定・余暇活動の充実こそ虐待防止の対策」
～虐待防止につながる職場環境をつくるには！～
権利擁護アドバイザー 社会福祉士 新名 雅樹 氏
参加者 21名(施設・居住系事業所の施設長、管理者、生活相談員等)

○障がい者権利擁護研修会(金)

日 時 10月5日
場 所 地域生活支援センタースマイル
内 容 講義「虐待が疑われる場面と防止する為の取り組み」
県社会福祉士会 理事 岡本 健介 氏
参加者 25名(就労継続支援A・B型事業所 管理者、相談支援専門員等)

○高齢者・障がい者生活なんでも相談会(くらしの困りごと相談会)

(第1回) 日 時：9月22日(土)

場 所：牛窓町公民館

相談員：地元士業及び権利擁護アドバイザー(弁護士、司法書士、社会福祉士、
行政書士、税理士、社会保険労務士)

いきいき長寿課・福祉課、地域生活支援センタースマイル、

地域包括支援センター・生活相談支援センター・権利擁護センター

相談件数：12件(内訳：成年後見3、相続2、年金2、高齢者福祉2、不動産1、
登記1、税金1、障害者福祉1、借金1、事故1、
その他5 ※重複あり)

(第2回) 日 時：2月16日(土)

場 所：ゆめトピア長船

相談員：地元士業及び権利擁護アドバイザー(弁護士、司法書士、社会福祉士、
行政書士、税理士)

いきいき長寿課・福祉課、地域生活支援センタースマイル、社協地域福祉係、

地域包括支援センター・生活相談支援センター・権利擁護センター

相談者：15件（内訳：不動産5、相続4、成年後見3、登記3、税金2、
 財産管理2、年金1、障害者福祉1、借金1、その他3
 ※重複あり）

○権利擁護に関するワンストップ相談窓口業務

新規実相談件数	内 訳			
	来所	電話	メール	その他
合計102	39	47	0	16

（継続実相談件数 合計18）

相談内容 (延べ件数) 合計2122	内 訳							
	虐待	DV	成年後見 制度	介護問題	金銭問題	入所・入院 問題	消費者被害	その他
	796	5	768	26	92	67	2	366

対応内容 (延べ支援回数) 合計2122	内 訳									
	訪 問	電 話	来 所	メール	ケース 会議	他機関 取次	経過報告 /付随す る相談	アドバ イザー へ相談	その他	
	152	370	79	322	129	3	980	65	22	

(2) 虐待対応業務

児童虐待、高齢者虐待、障害者虐待、DV 支援を対象範囲として、多問題家族、他機関・行政間をまたがる事例に対し、関係者との連携を深め課題解決に努め、対応方針の検討は、支援検討委員会にて行いました。

○虐待対応実績

通報件数	支援調整会議(延数)	訪問件数(延数)	終結件数(実数)
19 (内5件前年度継続)	61	42	10

(3) 成年後見業務

成年後見制度の市長申立てが必要と思われる対象者に対しての市担当課への専門的助言・支援を行いました。担当課より依頼を受け、帳票の作成支援を行うとともに関係機関との連絡会等の業務を行い、高齢者等に関する成年後見制度利用に関する支援を行いました。
 また、成年後見制度の普及啓発・広報へ取り組みました。

○成年後見制度利用支援実績

相談件数	支援調整会議(延数)	訪問件数(延数)	申立て利用実績(実数)
51 (内13件前年度継続)	70	103	11

(4) その他市民の権利擁護に関し必要な業務

既存組織と連携し、消費被害者支援や入居・入院支援の必要な高齢者等を早期発見及び予防対応の充実を図りました。

- ・施設入所で後見人を求められた際の成年後見申立て援助
- ・権利擁護アドバイザーの助言を基に入居支援について福祉課と検討(1月7・23日)

3. 市民後見推進事業

(1) 市民後見推進業務

市民後見人の養成・活動支援を行い、地域後見体制の整備・充実を図りました。

○市民後見人養成事業

開催日	内 容	備 考
8月 2日 (木)	市民後見人養成研修事前説明会	14名申込み
8月22日 (水)	選考会(書類審査・面接)	3名申込み (3名受講決定)
10月21日 (日) ～12月2日 (日)	岡山県 主催講座 (7日間)	
1月11日 (金) ～2月14日 (木)	瀬戸内市 主催講座 (3日間)	見学実習、同行訪問、 講義実習
2月27日 (水)	バンク登録意向確認面接	3名バンク登録意向確認
3月27日 (水)	選考会(書類審査・面接)	3名推薦

市民後見人バンク登録者数：11名 (内、受任・活動者数：7名)

※上記に30年度養成者3名が新たにバンク登録。

○市民後見人バンク登録者へのフォローアップ研修

回数	開催日時	内 容	備 考
第1回	4月20日 (金)	情報交換会	8名出席
第2回	6月15日 (金)	講義「永代供養・死後の手続き」 (講師：守田司法書士)	7名出席
第3回	8月17日 (金)	施設見学と交流研修 ・せとうち旭川荘の見学 ・知的障害者の家族(手をつなぐ親の会) との交流	6名出席
第4回	10月19日 (金)	交流研修 ・笠岡市の取り組み状況 ・〃 市民後見人から活動報告	7名出席
第5回	12月20日 (金)	講義 「身上監護について」 (講師：新名社会福祉士)	6名出席
第6回	2月28日 (金)	事例報告 ・市民後見人2名より活動報告	6名出席

○地域権利擁護支援ネットワークフォーラム

日 時：2月16日 (土)

場 所：ゆめトピア長船

内 容：基調講演「本人がメリットを実感できる成年後見制度へ」

～本人の意志や価値観に沿った後見支援が行われるために～

講師：厚労省 成年後見制度利用促進専門官 川端伸子 氏

シンポジウム「県内の市民後見人の推進状況」

～身近な存在として、本人に寄り添う地域後見～

参加者：202名

○ 生活相談 (瀬戸内市生活相談支援センター) ※受託事業

生活相談支援センターでは、生活困窮者が抱える多様で複合的な相談に応じ、必要な情報提供及び助言を行うとともに、自立支援計画（プラン）の作成等の支援を各関係機関と連携を図りながら、一体的かつ計画的に実施し、「生活困窮者の自立の促進」、「生活困窮者支援を通じた地域づくり」を目的に事業を実施しています。

1. 自立相談支援事業、家計改善支援事業の実施

(1) 相談実績(実数)

月	新規相談受付件数	プラン作成件数	
		自立相談支援事業による就労支援	家計改善支援事業
4月	11		
5月	3		
6月	2		
7月	12	1	3
8月	3		
9月	3		
10月	5	1	
11月	3		
12月	6	4	
1月	6		
2月	8	1	2
3月	7		
計	69	7	5

※再プラン件数含む

(2) 相談内容(延数)

相談内容別件数	収入・生活費	税金・公共料金の支払い	家賃・ローンの支払い	債務について
	40	18	14	19
	病気・障がい	仕事探し・就職	仕事上の不安やトラブル	子育て
	20	18	5	8
	家族関係	DV・虐待	介護	ひきこもり
	11	4	6	11
	地域との関係	食べるものがない	住まい	その他
	5	13	6	10

計 208 件

(3) 支援内容 (延数)

支援内容別件数	来所	電話	訪問	所内会議
	463	588	244	55
	支援調整会議 (プラン策定・評価)	他機関との会議 (支援調整会議除く)	他機関への電話照会 ・協議	その他
	18	204	437	25

計 2,034 件

(4) 支援調整会議の開催

支援調整会議は、相談者に対する自立支援計画（プラン）の適切性の協議、支援決定、終結時の評価、各支援機関による情報共有等を目的に開催しています。

回	日程	内容
第1回	平成30年 7月3日(火)	・自立相談支援事業による就労支援の決定 1件 ・家計相談支援事業の決定 3件
第2回	平成30年 10月10日(水)	・自立相談支援事業による就労支援の決定 1件 ・自立相談支援事業による就労支援の終結 2件
第3回	平成30年 12月25日(火)	・自立相談支援事業による就労支援の決定 4件 ・自立相談支援事業による就労支援の終結 1件
第4回	平成31年 2月18日(月)	・自立相談支援事業による就労支援の決定 1件 ・家計改善支援事業の決定 2件

※生活困窮者自立支援法改正により家計相談支援事業は、平成30年10月1日より家計改善支援事業に名称変更

2. 地域支援ネットワークの推進

■生活困窮者自立支援ネットワーク会議の開催

生活困窮者自立支援ネットワーク会議は、関係機関及び関係者のネットワークを構築し、事業に関する情報共有、地域における支援体制の検討を行い、生活困窮者に対する包括的な支援を効果的に実施することを目的に開催しています。

回	日程	内容	出席委員等
第1回	平成30年 6月19日(火)	1. 平成29年度事業報告 2. 平成30年度事業計画 3. 生活相談支援センター支援状況の報告 4. 意見交換	ネットワーク会議委員 9名 アドバイザー 2名 オブザーバー 4名 事務局 2名 計 17名
第2回	平成31年 3月15日(金)	1. 平成30年度瀬戸内市生活相談支援センターの取り組み状況について 2. 意見交換	ネットワーク会議委員 11名 アドバイザー 1名 オブザーバー 2名 事務局 2名 計 16名

3. 当事者（相談者）の交流の機会を提供

■ぴあ座談会の開催

ひきこもり者等の支援のため、「当事者同士の情報共有の場」、「将来の目標づくり」、「不安やストレスの軽減」を図るための交流の機会を設けています。

回	日 程	内 容	参加者数
第1回	平成30年 9月7日(金)	レクリエーションを交えながら、「仕事の様子」、「自宅での過ごし方」、「趣味」等を話し合い、交流を深める。	2名
第2回	平成31年 3月8日(金)	今後の活動についての話し合い（花見の企画）	1名

○ 共助の基盤づくり事業

地域のつながりの希薄化や孤立化が進んでいる中で、住民参加による地域づくりを通じて、誰もが安心して生活できる地域基盤を構築することにより、地域住民一人ひとりが日頃から支え合いの地域づくりが必要であるということを意識し、地域住民の福祉力向上を図った。

- ① 平時からの災害に強い地域づくりが必要であるため、災害に関する研修会の開催。災害に関する知識を学ぶ機会を地域住民に提供。

日 程	内 容
平成31年2月24日(日)	災害ボランティア講座 講演Ⅰ「東日本大震災を体験して ～震災から教えられたこと・伝えていきたい事～」 講演Ⅱ「ソナエルのススメ ～伝えるを伝えるへ～」

【 防災・災害に関する講演会の開催 】

- ・被災体験者による講演
- ・地域づくりに関する講演

【 地域づくりのための人材発掘と育成 】

- ・災害ボランティアの登録
- ・研修会終了後、取組みをおこないたい地区に講師派遣調整等の支援

② 地域での見守りをおこなうための拠点づくり

【 親子ふれあい食堂の設立に関する支援 】

- ・市内の社会福祉法人の取組みを小地域ケア会議等で周知
- ・地域の民生委員の協力を得ながら活動支援

日 程	内 容
4月25日(水)	情報交換(特養せとうち、社協)
5月14日(月)・6月15日(金)	開催に向けての話し合い(職員有志・民生委員・社協)
7月21日(土)	親子ふれあい食堂 開催支援
8月4日(土)	親子ふれあい食堂 開催支援
8月18日(土)	親子ふれあい食堂 開催支援
平成31年3月16日(土)	親子ふれあい食堂 支援

③ 見守り体制支援事業として「私の在宅療養のしおり」の啓発検討

【 トータルサポートセンターとの協議 】

- ・住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、もしもの時に備えて、自分の緊急時連絡先や療養の記録などを書き留めておく「私の在宅療養のしおり」を瀬戸内市トータルサポートセンターが作成しており、同センターと協議の結果、本会も市と協働により作成・配布をして推進していくことになった。
- ・次年度より福祉委員研修会や小地域ケア会議等で配付目的や内容について説明を行う。
- ・対象は、介護サービス等の療養支援を必要とする方、療養支援が必要となる前段階の方、地域の集い等の参加者、その他に「しおり」の活用を希望する方とする。